

据付工事説明書

品番 トッププレート幅75cm
JIC-B732GR





品番 トッププレート幅60cm
JIC-B532GR(S) / JIC-B532GR(K)

JIC-B732GRF (レンジフード
運動タイプ) JIC-B532GRF (レンジフード
運動タイプ)

安全上のご注意











- 据付工事の前に、この『安全上のご注意』をよくお読みのうえ正しく据え付けてください。
- ここに示す注意事項は、安全に関する重大な内容を記載していますので必ず守ってください。

絵表示の詳しい説明は下記のとおりです。

 警告	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、『人が死亡または重傷を負う可能性が想定される』内容を示しています。
 注意	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、『人が傷害を負う可能性及び物的損害のみの発生が想定される』内容を示しています。
	この絵表示は、してはいけない『禁止の行為』内容です。
	この絵表示は、必ず実行いただく『強制指示の行為』内容です。

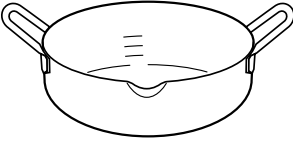
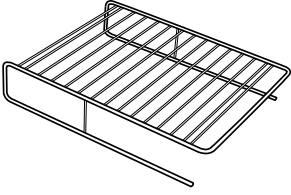
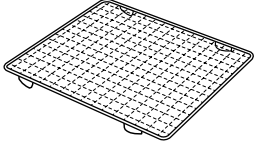
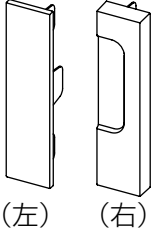
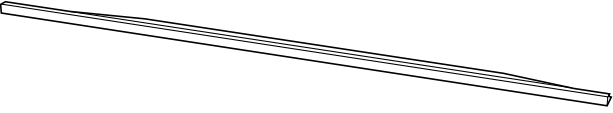
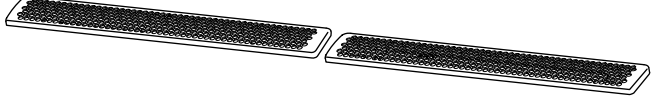
据付工事完了後、試験運転を行い、異常がないことを確認するとともに取扱説明書にそって、お客様に使用方法、お手入れの仕方を説明してください。

この説明書は必ずお客様にお渡しいただき、取扱説明書・保証書とともに保管いただくように依頼してください。

 警告	 据付工事は、据付工事説明書に従い確実にを行う ●据付工事に不備があると、水漏れや感電、火災の原因になります。 <small>必ず実施</small>
	 電源は200V・30A以上の専用回路と漏電しゃ断器を設置する また、電源プラグ(250V-30A)に合った専用コンセントを単独で使用する ●電源回路の容量不足や据付工事不備があると感電、火災の原因になります。 <small>必ず実施</small>
	 電気配線工事は、電気設備技術基準等関連法令・規則等に従って必ず「法的有資格者」が行う ●接続・固定が不完全な場合は、漏電・火災の原因になります。 <small>必ず実施</small>
	 アース工事は、電気設備技術基準等関連法令・規則等に従って必ず「法的有資格者」によるD種接地工事を行う ●アースが不完全な場合は、故障や漏電のときに感電のおそれがあります。 <small>アース線接続</small>
	 絶対に分解・修理・改造は行わない ●火災、けが、感電の原因になります。 <small>分解禁止</small>
 注意	 トッププレートに衝撃を加えない ●ひびが入ったり割れた場合、異常動作、感電の原因になります。 <small>禁止</small>
	 試験運転中は、トッププレートやグリル扉など高温部に触れない ●やけどのおそれがあります。 <small>接触禁止</small>
	 ワークトップの材料は、耐熱材料のものを使う ●熱硬化樹脂化粧板(JIC K 6903)またはこれと同等以上のもの。 耐熱性の低いものを使用すると、変形・火災の原因になります。 ※ニス引きのものは変色するため、使わないでください。 <small>必ず実施</small>

付属品

■包装材料を取り外し、下記付属品が同梱されていることをご確認ください。

天ぷらなべ (1個)	焼き網 (1個)	うま焼きネット (1個)	飾りカバー (2個)
			
飾り金具 (1個)	吸・排気口カバー (2個)		
			

1 電気工事及び接地工事

- 電気工事は、必ず「電気工事士」の免許をお持ちの方が行ってください。
- 電気工事や接地工事は「電気設備技術基準」、「内線規定」に準じてください。

■電源はブレーカー付きの専用回路（单相200V・30A以上）を設けてください。

- 三相200Vには、絶対に接続しないでください。（故障の原因になります）

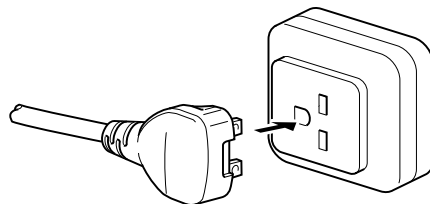
■漏電しゃ断器は必ず設置してください。

- 漏電しゃ断器：定格電流30A、感度電流30mA

■電源コンセントを設置してください。

- 单相3線式定格250V・30A（一極接地用）
- 電源プラグに合った埋め込みコンセントを使用してください。
推奨コンセント：明工社製 ME8586（埋込型）
松下電工製 WF3630B（埋込型）・WK36301B（露出型）
- 電源コードの直付は絶対にしないでください。

（コンセント差込形状）



- 電源コンセントの取付け位置は『3 システムキッチンとの関係寸法図』を参照ください。

■アース工事を必ず行ってください。（D種接地工事）

- コンセントの一極接地用に配線してください。
アース工事は、ガス管・水道管・避雷針・電話のアースに接続しないでください。

■屋内配線用電線は、線径φ2.6mm以上のものを使用してください。

お願い

電源電線及びアース線は、プラグを外して直結しない

- 漏電やショートによる感電・火災の原因になります。

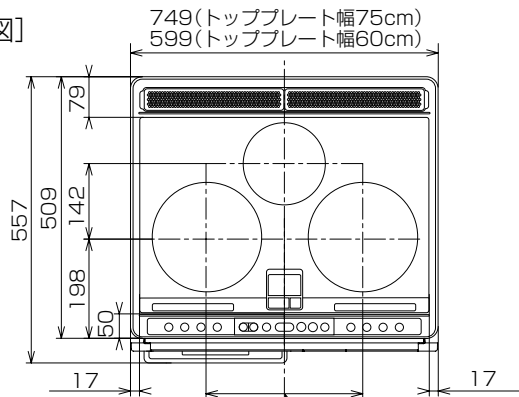
プラグの刃及び刃の周辺にほこりが付着していないことを確認し、ガタのないよう根元まで確実に差し込む

- ほこりが付着したり、接続が不完全な場合は、感電・火災の原因になります。

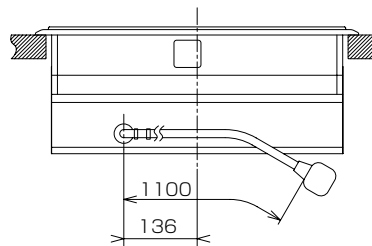
2 製品外形寸法図

(単位：mm)

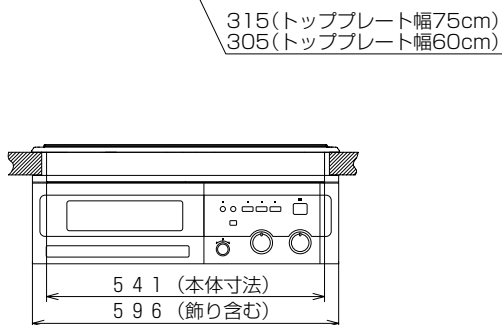
[上面図]



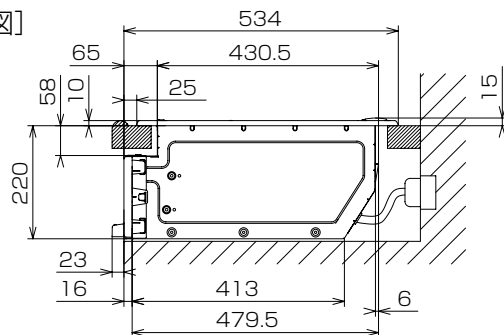
[背面図]



[正面図]



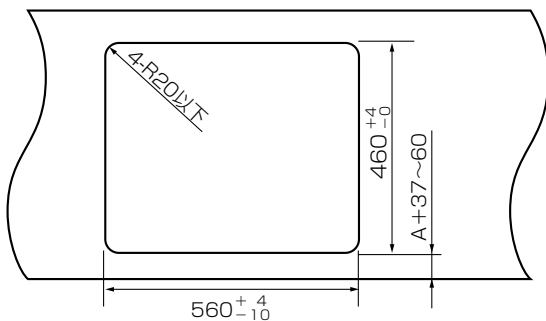
[側面図]



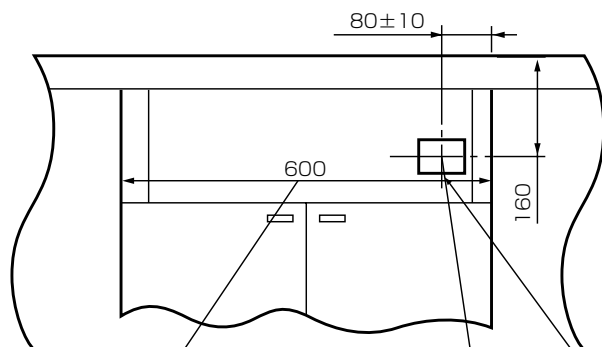
3 システムキッチンとの関係寸法図

(単位：mm)

[取付け穴：ワークトップ切り込み寸法]

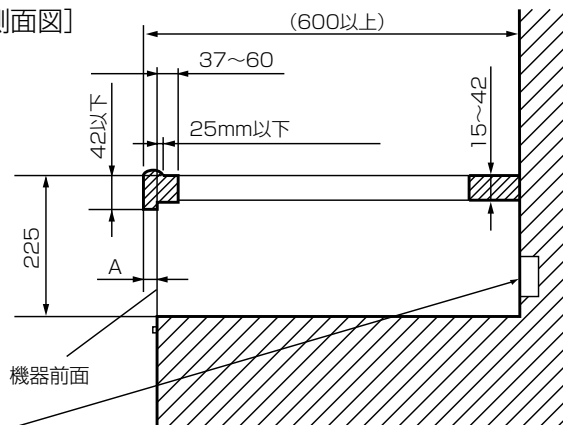


[正面図]



前面より奥行20mm以上は
600mm幅の空間が必要です。

[側面図]



キッチン背面の壁のこの位置に
コンセントを設けてください。
埋め込みコンセントを使用してください。



コンセントの向きに注意してください。
(アース端子を左側に向けて取付けてください。)

※A寸法は、ワークトップ前面とキャビネット前面（機器前面）との差です。

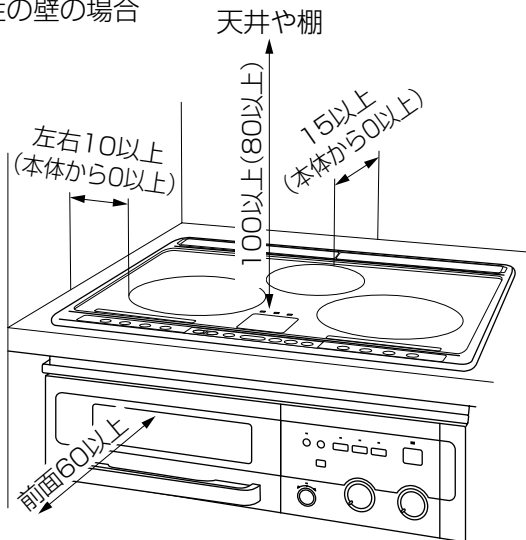
4 据付場所の確認

火災予防条例、電気設備技術基準省令第59条に従って設置してください。

■壁からの距離

- 器具は火災予防上、可燃性の壁（防火構造壁以外）との間を側面10cm以上、背面15cm以上、上面100cm以上離してください。また、器具の前面は60cm以上離してください。不燃性の壁の場合はその限りではありません。

周囲が可燃性の壁の場合



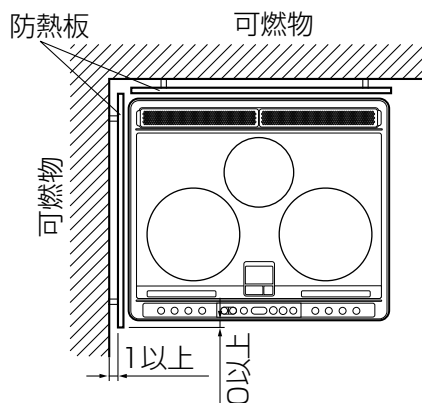
(単位：cm)

() 内は不燃性の壁または、防熱板を取付けた場合。

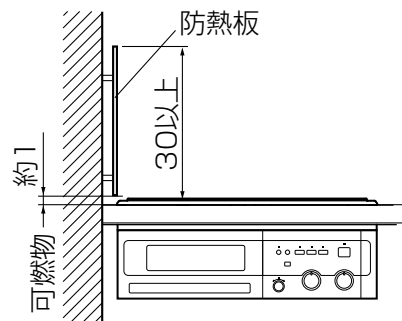
[消防法 基準適合 組込形]

※製品の前面はできるだけ広く（60cm以上）あけて
通行時や冷蔵庫・家具などの扉が当たらないようにしてください。

可燃性の壁から、上記の距離を離して据付できない場合は、防火上有効な防熱処理をしてください。



[上面]



[正面]

(単位：cm)

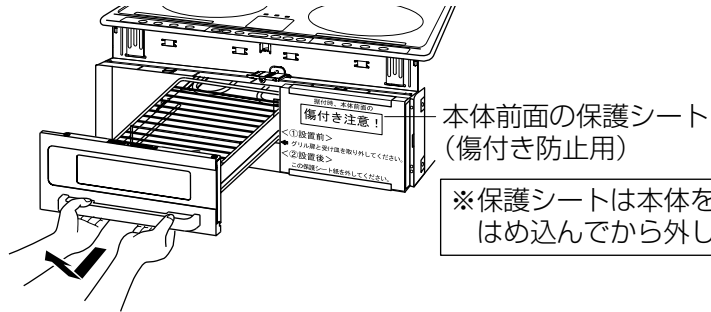
- 製品の金属部がシステムキッチンの金属部と接触する場合は建造物の壁中の金属（メタルラスなど）とシステムキッチンの金属部を接触しないようにするか、または、製品の金属部がシステムキッチンの金属部に接触しないように取り付けてください。
(電気設備技術基準・解釈、第5章電気使用場所の施設、第1節屋内の施設、第167条で危害なきよう設置することが定められています。)
- 本体をタイルやモルタルで塗り込まないようにしてください。点検やアフターサービスの妨げとなります。
- ワークトップは、熱硬化樹脂化粧板（JIS-K-6903）または、これと同等以上の材料が使われているか確認してください。耐熱性の低いものを使用すると、変形・火災の原因になります。
※ ニス引きのものは変色するため使わないでください。
- 製品は水平に設置してください。

5 設置

■付属品の吸・排気口カバーは外した状態で設置してください。

■グリル扉・受け皿・うま焼きネット・焼き網を取り外す

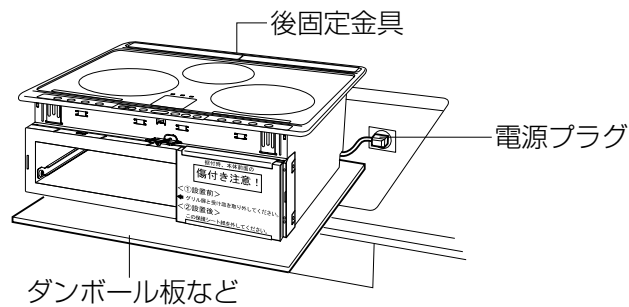
- グリル扉などを外さずに設置すると、グリル扉が飛び出し、キズや破損することがあります。
- グリル扉の止めテープを外し、グリル扉の取っ手を持って止まるまで手前に引き出し、そのまま斜め上に引き上げる。



■本体の設置

1. 電源プラグをコンセントに差し込む

- ワークトップに傷を付けないように梱包用ダンボール板などを敷いてください。

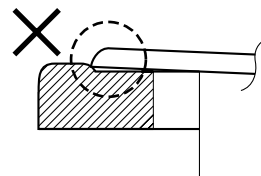
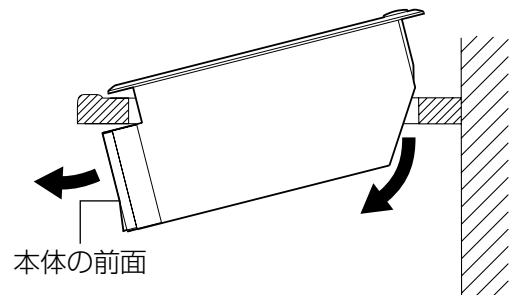


2. ワークトップに本体の前部を挿入してから全体をはめ込む

- 本体前面の保護シートは、本体をワークトップにはめ込むまで絶対に外さないでください。
- はめ込み時、本体の前部をワークトップに当てないでください。

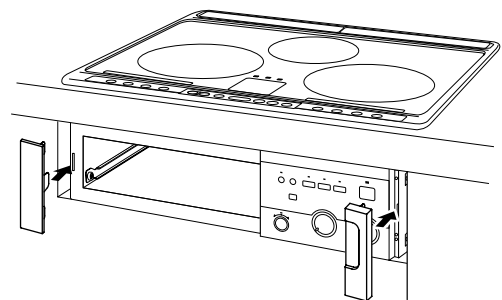
キズや塗装のはがれの原因となります。

- 膨らみに乗り上げないようにフラット部にセットしてください。



3. 本体位置を左右飾りカバーが取付けできるように調整する

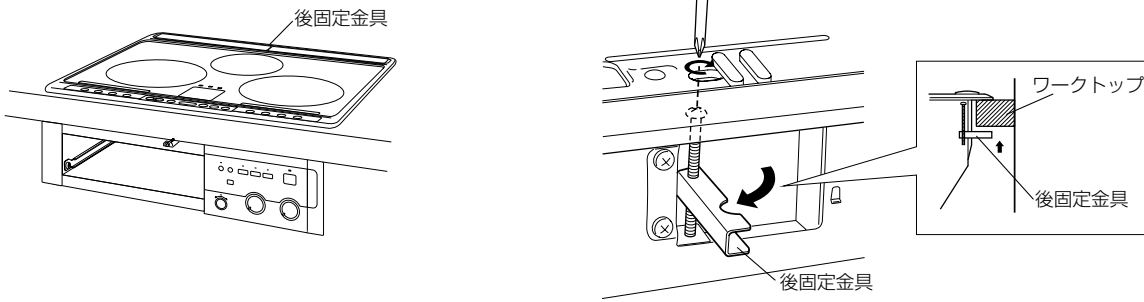
- 飾りカバーとシステムキッチンの左右側面の隙間が均一になるように本体位置を調整してください。
- システムキッチンの扉面に本体前面が合うように本体位置を調整してください。
- 左右の差し込み口に飾りカバーのツメを確実に差し込んでください。



5 設置 (つづき)

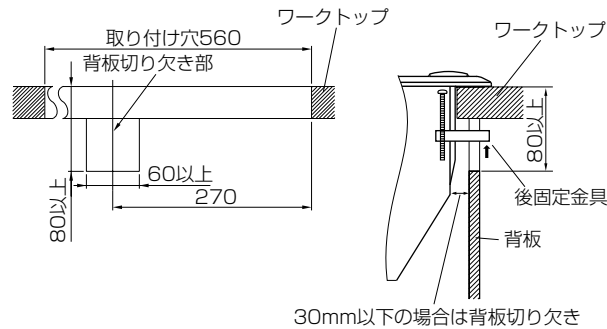
4. 後固定金具を固定する

- 後固定金具を起し、ネジを締めつけて、ワークトップの裏面に固定してください。



システムキッチンの後方に背板がある場合

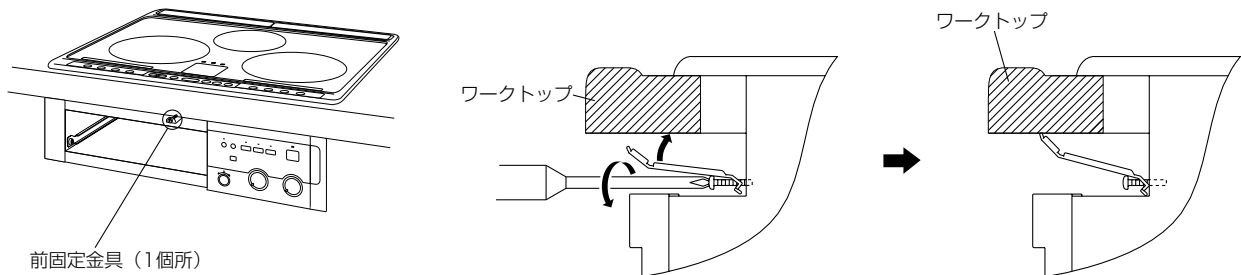
- 背板位置がワークトップの取付穴から30mm以下の場合は、後固定金具が通るよう背板に切り欠きを設けてください。



30mm以下の場合は背板切り欠き

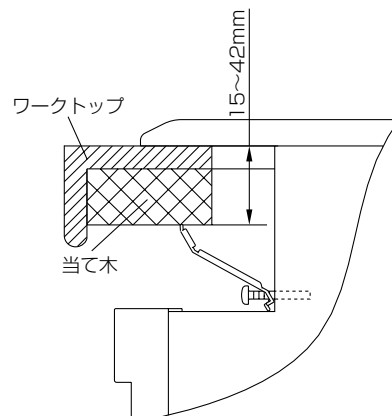
5. 前固定金具 (1個所) を固定する

- 前固定金具を止めているテープを外してください。
- 前固定金具をネジの上に乗せるようにセットし、ネジを締めつけて、ワークトップの裏面に固定してください。
※ 固定時は、ドライバーの先や根元などで製品を傷付けないようにしてください。
- 固定後、本体を押し動かさないことを確認してください。



ワークトップの厚みが薄い場合

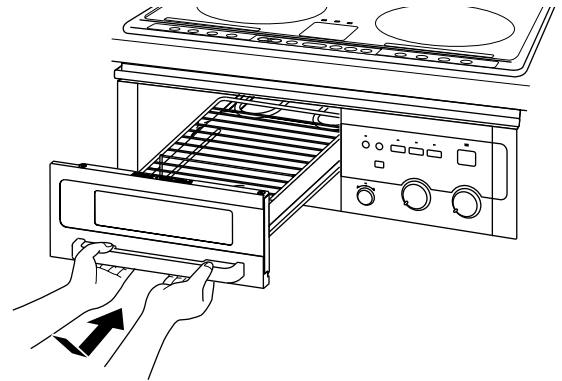
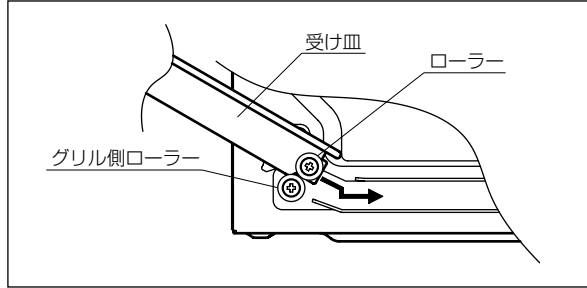
- 後・前固定金具はワークトップの厚みが15~42mmに適応します。厚みが15mm以下の場合は、当て木を添えてください。



5 設置 (つづき)

■付属品・グリル扉・受け皿・焼き網を取付ける

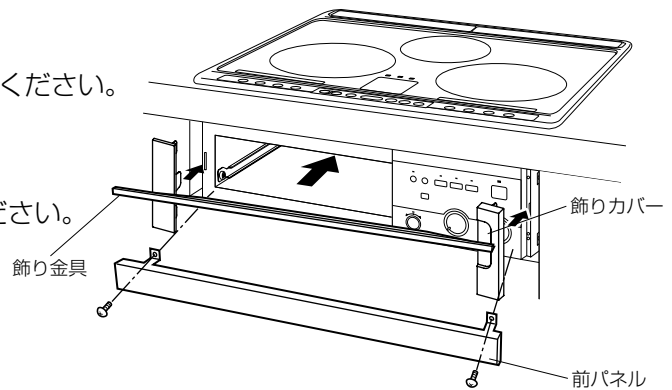
- 吸・排気口カバーを取付けてください。
- 飾り金具は、奥行の長い面を下にして左右2ヶ所のツメに確実にはめ込んでください。
- グリル扉・受け皿・焼き網・うま焼きネットを取付けてください。
※受け皿側のローラーとグリル側ローラーとを滑らせながら、受け皿を斜め上からはめ込んでください。



■前パネルを必要とする場合

設置高さ270mmモジュールのキッチンに設置する場合に必要です。

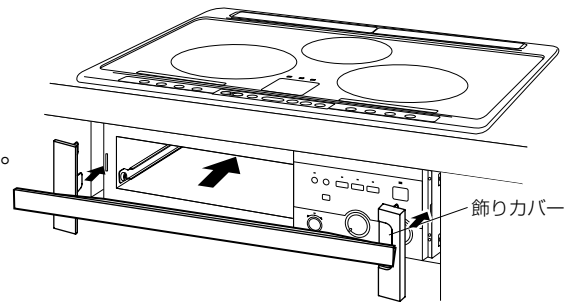
- 前パネル (別売)
部品番号：617-282-9203 (シルバー)
617-256-4289 (ブラック)
※別売の前パネルはお買い上げ販売店にお問い合わせください。
- 前パネルの取付けかた
 1. 飾り金具・左右飾りカバーを取外してください。
 2. 前パネルを左右2箇所 付属のネジで固定してください。
 3. 左右飾りカバー・飾り金具を取付けてください。



■ハーマン台専用飾り金具を必要とする場合

ハーマン製のキッチンに設置する場合に必要です。

- 飾り金具 (別売)
部品番号：617-282-9937 (シルバー)
617-260-4947 (ブラック)
※別売の飾り金具はお買い上げ販売店にお問い合わせください。



総消費電力の切り替えについて

本製品は総消費電力を5800W (工場出荷時の設定)・4800Wの2段階に切り替えることができます。アンペアブレーカーの容量不足などで、ご使用上、不便があるときに選べます。

■切り替え方法

- ① 左IHの⓪ (タイマーキー) と Ⓐ (湯沸しキー) を同時に押しながら電源スイッチを「入」にする。
↳ 左右IHの表示部に **58** が点灯する。
 - ② 左IHのⓈ (炒め物キー) を押す。↳ 左右IHの表示部が **48** の点灯に切り替わる。
 - ③ 左IHのⓂ (揚げ物キー) を押す。↳ 左右IHの表示部が **58** の点灯に切り替わる。
 - ④ 電源スイッチを押して電源を切る。↳ 切り替え完了。
- ②、③の操作で表示部が切り替わる。
48 ↔ **58**

6 据付完了後の確認

■次の手順で確認し、チェック欄に√印をしてください。

確認項目		チェック
電気工事	<ul style="list-style-type: none"> ・アース工事（D種接地工事） ・漏電しゃ断器の設置 ・電源プラグの接続 	
包装材の取外し	<ul style="list-style-type: none"> ・グリル内部に包装材がないこと。 	
付属品の取付	<ul style="list-style-type: none"> ・吸・排気口カバーの取付 ・左右飾りカバーの取付 ・上部飾り金具の取付 	
外観	<ul style="list-style-type: none"> ・トッププレート枠が浮いていないこと。 	
試 験 運 転	<p>①電源電圧が単相200Vであることを確認する。 （単相100Vでは電源スイッチを入れたとき、約5秒後に左右表示部に[E53]を、中央表示部に[E3]を表示します。）</p> <p>●加熱機器連動タイプのレンジフードと組み合わせて据付する場合は、レンジフード単体で正常に動作することを確認してください。（レンジフード連動タイプのIHクッキングヒーター据付時のみ）</p>	
	②電源スイッチを「入」にする。 ➡ 電源ランプが点灯する。	
	<p>③各ヒーターの動作を確認する。</p> <p>(1) 左・右ヒーター（IHヒーター）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・取扱説明書に記載の使えるなべに水を入れ、ヒーターの中央に置く。 ・火力調節つまみを押し出し、つまみを回す。 <p>（※調節つまみが出ている時は、一旦つまみを押し込んでから再度調節つまみを押し出す。 ※なべを置かないで操作した場合、「なべ無し自動OFF」が働き、約1分後に通電が切れ[U17][U37]を表示する。）</p> <p>➡</p> <ul style="list-style-type: none"> ・天面の左・右ヒーター表示部の表示と高温注意ランプが点灯し、加熱が始まる。 ・レンジフードが自動的に風量「中」で運転する。（※1） 	
	<p>(2) 中央ヒーター</p> <ul style="list-style-type: none"> ・天面操作部の中央ヒーターキーを押した後、スタートキーを押す。（※グリルとの同時使用は出来ません。） <p>➡</p> <ul style="list-style-type: none"> ・天面のグリル／中央ヒーター表示部の「中央ヒーター」、火力調節表示「強」、および高温注意ランプが点灯し、中央ヒーターが赤熱する。 ・レンジフードが自動的に風量「中」で運転する。（※1） <p>(3) グリル</p> <ul style="list-style-type: none"> ・天面操作部の手動グリルキーを押した後、スタートキーを押す。（※中央ヒーターとの同時使用は出来ません。） <p>➡</p> <ul style="list-style-type: none"> ・天面のグリル／中央ヒーター表示部の「両面」、火力調節表示「強」、および高温注意ランプが点灯し、しばらくすると庫内が熱くなる。 ・レンジフードが自動的に風量「中」で運転する。（※1） 	
	<p>(4) すべてのヒーターとグリルを停止する。 ➡</p> <ul style="list-style-type: none"> ・天面表示部の表示が消灯する。（トッププレートが熱い間は高温注意ランプは点滅する） ・レンジフードが約3分後自動停止する。（※2） 	

（※1）レンジフードが停止中に、ヒーターを運転した場合です。

（※1）（※2）加熱機器連動タイプのレンジフード（指定機種）とレンジフード連動タイプのIHクッキングヒーターを組み合わせた場合です。

■試験運転後は、必ず電源スイッチを「切」にしてください。

■試験運転で付属の天ぶらなべを使用した場合は、必ず水気を十分にとり、内側に軽く食用油をぬってください。

●据付完了確認後は、据付工事説明書、取扱説明書、保証書、天ぶらなべは必ずお客様にお渡しください。

据付完了 確認者印	
--------------	--